

活動名	団体名 神原校区子ども委員会
神原校区ふるさと歴史マップ作成事業	地域 山口県宇部市
	代表者 会長 渡壁 幸一郎
	支援金額 30万円
活動概要	
<p>神原小学校の児童と校区ボランティア一緒にになって、校区(ふるさと)の昔のことを学び、子どもたちに故郷への愛着心と誇りを培っていく目的で、平成15年～19年の継続事業で校区内9箇所に史跡標柱を建立しました。集大成として史跡標柱や宇部市のシンボルである彫刻(校区内に野外設置)を中心にふるさと歴史マップ(ウォーキングマップ)を作成し、マップ完成のお披露目と校区民の親睦を図ることを目的に三世代交流ウォーキング大会を開催しました。</p>	
<p>◆実施時期：平成20年4月～平成21年3月 神原ふれあいセンター、神原校区内</p>	
<p>◆参加人数：マップ作成；大人5名・中学生3名・小学生9名 ウォーキング大会；スタッフ40名・参加者大人80名・子ども20名</p>	
参加総人員 210名	



《開校式》



《学習会》



《史跡探索》



《ウォーキング大会》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

三世代交流ウォーキング大会の開催にあたり校区コミュニティ推進協議会所属の各種団体に協力していただきました。各団体でも色々と協議していただき、地域コミュニティの連携推進に寄与できたのではないかと思います。また、作成したマップ(4,000部)を配布する事で、地域(故郷)への关心を呼び起こし、身近なウォーキングコースを提案することで、住民の健康づくりがはかれればと思います。

◆苦労した点

地域のボランティアは5年間の継続事業の実績があったので募集しても容易にあつましたが、最近の小学生・中学生は多忙なのか(他の事業でも集まらない傾向がある)、勉強中心の事業には関心・意欲がないのか(お楽しみを盛り込んだ事業には参加が多い傾向がある)小学生には2度募集をかけても参加希望者が皆無であった。スタッフで協議のうえ校区学童保育の3年生の児童に参加してもらって行事を行う事ができたが、参加した児童は意欲的で楽しんで作成してくれた。

◆今後の課題・発展の方向性

継続事業の参加者募集は容易であるが、新規事業の参加者を募集する難しさを痛感しました。回覧、ポスターなど文章で伝える時に、いかに楽しさを伝え参加する意欲をかき立てるものを作成できるか、魅力を感じる事業を企画できるかが課題だと思います。

最後の三世代交流ウォーキング大会は、多数の参加者で地域住民の交流、又大人と子どもの交流も図れ、とても有意義だったと思う。今年度作成したマップにはウォーキングコースが3コースあるので、21・22年度も他団体と共にウォーキング大会を開催したいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

宇部市ではウォーキング推進事業の推進により現在20の小学校校区でウォーキングマップが作成されていますが、他校区に誇れる素晴らしいマップ(自己満足の部分大)が完成しました。これもひとえに貴財団の支援による賜物と心より御礼申し上げます。ありがとうございました。『資金が無ければ知恵を出せ。知恵が無ければ汗を流せ』をモットーに、児童の健全育成又、校区住民に楽しい為になる仕掛けを考えていきたいと思います。